

訪問票（一次アセスメント票）

（別紙様式3）

受付 No.		アセスメント対応状況			
氏名： 田中 一郎		■訪問（〇〇病院）		5月 6日	
対応職員： 相談支援事業所ラッキー 〇〇〇〇		□外来			
		□電話等			
障 害 者 本 人 の 概 要	生活歴	<p>高校2年の時母親が病死、その後父と暮らしていた。成績はあまり良くなかったが、高校を卒業し工場や飲食店などで働いた。しかしどこも長続きせず、職を転々とした。19歳の時に幻聴・妄想が出現、他害行為（当時の工場長に殴りかかろうとした）もあり医療保護入院（約1年間）。退院後、別の会社に就労するが、怠業して妄想が再燃し、その後も入退院を繰り返した。</p> <p>38歳の時、生活訓練事業所に入所。退所後は単身生活をしながら、工場で働いていた。43歳の時に薬を自分で調整し、病状が悪化して再入院となった。（父が本人のアパートに向いて数日かけて受診を説得した。）病状悪化時は、「テレビで自分の悪口を言っている」などの妄想が出現する。また、気になることがあると不安になり、そのことばかり考えてしまう。</p> <p>現在、病状は落ち着いており、日中は作業療法に1日2時間参加し、創作や調理、スポーツなどを行っている。退院後の生活の見通しがつけば、退院できる状況である。本人は父親との同居を希望しているが、父親は同居を拒んでいる。父親は78歳で年金生活をしている。</p> <p>現在、貯金は10万円ある。収入は、障害年金2級（約65,000円/月）である。退院後は、家計が苦しくなるのですぐに就労したいと考えているとのことである。</p>			
	病歴・障害歴	年月	事項	年月	事項
	S〇〇（19歳）	統合失調症			
	医療機関利用状況〔現在の受診状況,受診科目,頻度,主治医,どの疾患での受診〕 〇〇病院入院中：主治医□□Dr.				
	医療保険 被保険者（本人・家族） ■ 国民健康保険 □ 健康保険 記号 番号 障害者医療： ■ 自立支援医療（入院中に期限が切れている）				
	現在使用している福祉用具： なし				
生活状況〔普通の1日の流れ〕 ※週間生活表が必要な場合は別紙に記入					
本人（病棟の日課どおりに過ごしている）					
7：00 起床（8：00 朝食）					
10：00～12：00 院内作業療法					
12：00 昼食（午後は病棟でTVや他の患者とおしゃべりなど）					
17：00 夕食					
20：00 眠前薬服用					
21：00 就寝					
家族（父）					
〇〇市のアパート（1DK）で単身・年金生活					
本人の病状が悪化したときに、本人のアパートに向いて数日泊まり込んで本人に受診を説得した。					
本人が退院し、病気が再び悪くなった時の自分の負担が心配。同居も避けたい。					

利用者の状況

1 生活基盤に関する領域

項目	チェック内容			本人の能力と制限 気づいたこと 本人の環境と制限 気づいたこと
	実態	希望	援助の要 ・不要	
経済環境	障害基礎年金 2級 (月 65,000 円)	無	不要	貯金の残額は約 10 万円、 入院中は年金の額でまかなえている。
住環境	入院中	有	要	入院前のアパートは引き払った、 退院後の住まいが決まっていない。

2 健康に関する領域

項目	チェック内容			本人の能力と制限 気づいたこと 本人の環境と制限 気づいたこと
	実態	希望	援助の要 ・不要	
服薬管理	病棟で 自己管理を開始	無	要	怠薬から、病状悪化～再入院している。
食事管理	不要	無	不要	
病気への留意	統合失調症	無	要	服薬が守られれば、安定する。
体力	問題なし	無	不要	

3 日常生活に関する領域

項目	チェック内容			本人の能力と制限 気づいたこと 本人の環境と制限 気づいたこと
	実態	希望	援助の要 ・不要	
衣類着脱 (上衣) (ズボン等)	自立	無	不要	
整容行為	声かけ	無	要	寝ぐせや無精ひげの時がある。
食事行為	自立	無	不要	
排泄行為 (排尿) (排便)	自立	無	不要	
睡眠	眠剤服用	有	要	病状が悪いと不眠になる。
入浴行為	自立	無	不要	
ベットへ移乗 (床) (車いす等)	自立	無	不要	
屋内移動	自立	無	不要	
調理 (後かた づけを含む)	やらない	有	要	単身生活時もコンビニ弁当が主だった。
洗濯	自立	無	不要	
掃除	声かけ	無	要	声かけをすれば行う。
整理・整頓	大雑把にはする	無	要	時々、見つからなくて探し回ることがある。
ベットメーキング	声かけ	無	要	一人暮らしの時には、布団が敷きっぱなしであった。入院中は日課で行えている。

書類の整理	鞆にまとめて いる	無	要	時々、見つからなくて探し回ることがある。
買物	自立	無	不要	
衣類の補修	一部支援	有	要	ボタンはつけられる。裾上げは出来ない。
育児	無	無	不要	

4 コミュニケーション・スキルに関する領域

項 目	チェック内容			本人の能力と制限 気づいたこと 本人の環境と制限 気づいたこと
	実 態	希望	援助の要 ・不要	
意思表示の 手段	言語で可	無	不要	
意思伝達の 程度	心配事を自分 から言う	無	要	職員に訊いたり相談することで、心配事は解 消される。
他者からの意 思伝達の理解	安定時は理解 できている	無	要	病状悪化時は被害的などらえ方をして疑いや すくなるが、職員と話すことで落ち着く。
情報伝達機器 の使用	携帯は 解約した	無	要	退院後にはまた持ちたい。

5 社会生活技能に関する領域

項 目	チェック内容			本人の能力と制限 気づいたこと 本人の環境と制限 気づいたこと
	実 態	希望	援助の要 ・不要	
対人関係	患者仲間は 良好	無	要	
屋外移動 (近距離移動) (遠距離移動)	主に自転車	無	不要	
金銭管理	自己管理	無	要	病棟小遣いも、乱費はしない。
危機管理	不安を訴える ことが出来る	無	不要	

6 社会参加に関する領域

項 目	チェック内容			本人の能力と制限 気づいたこと 本人の環境と制限 気づいたこと
	実 態	希望	援助の要 ・不要	
レクリエーシ ョン等	自立	無	不要	病棟レク (バス旅行) は楽しい 退院したら秋葉原にも行きたい
趣味	自立	無	不要	CD・お笑い番組
旅行	希望なし	無	不要	
当事者団体の 活動	なし	有	不要	
各種社会的 活動	なし	有	要	働きたいと考えている。

7 教育・就労に関する領域

項目	チェック内容			本人の能力と制限 気づいたこと 本人の環境と制限 気づいたこと
	実態	希望	援助の要 ・不要	
教育	不要	無	不要	
就労	退院したら働きたい	有	要	年金2級だけでは生活できないと思うので、働かなければならないと思う。

8 家族支援に関する領域

項目	チェック内容			本人の能力と制限 気づいたこと 本人の環境と制限 気づいたこと
	実態	希望	援助の要 ・不要	
家族 ① 情報提供 ② 介護負担軽減 ③ 家族関係調整 ④ 社会参加		有	要	父親も高齢になり、本人が気になってはいるが、自分のことだけで精一杯のようである。

本人の要望・希望する暮らし

- ・おやじの事が心配なので、おやじと一緒に住み、親孝行したい。
- ・働きたい。
- ・生活費を心配しないで暮らしたい。
- ・もう入院はしたくない。

家族の要望・希望する暮らし

- ・金銭的に自立してほしい。
- ・病気とうまくつき合って、生活して欲しい。

関係職種からの情報

服薬により病状は落ち着いている。父親は自宅に戻ることを拒んでいる。主治医は単身生活だと服薬や病状のコントロールが出来なくなるので、家族や支援者がいる住居への退院を提案している。

[家屋の見取り図] 持ち家 その他

トイレ、浴室位置の形状、玄関、道路までのアクセスや段差等の記入

- ・入院前のアパートは引き払った。(家財は父宅に保管してある)
- ・父親が住んでいるアパートは、1DK

担当者所見 (注目すべき点、気になる点を含む)

本人の希望と父親の希望が違うので、調整が必要である。
サービス担当者会議を開き意見を聞きながら方向性を決めていくことや、グループホームや日中活動、その他のサービスを見学することが必要である。